

各位

株式会社ナカニシ

## 本社工場・A1 工場でカーボンニュートラルを達成（Scope1・2）

株式会社ナカニシ（栃木県鹿沼市、代表取締役社長執行役員：中西英一）は、本社工場および A1 工場においてカーボンニュートラルを達成し、第三者機関による保証報告書を受領しましたので、お知らせします。

### 記

歯科・外科・機工の事業分野でグローバルに活動する当社は、1999年にISO14001<sup>\*1</sup>を取得して以来、企業としての社会的責任を果たすべく、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してきました。このような中、2021年12月1日には本社工場・A1工場で使用する電力を太陽光発電・風力発電由来の再生可能エネルギー100%に切り替え「CO2ゼロ・ものづくり」<sup>\*2</sup>を開始しました。その後も新工場「A1+」への太陽光発電パネルの導入、老朽化設備の更新、製品エコパッケージの適用範囲の拡大等、温室効果ガス排出量削減の取り組みを重ねるとともに、J-クレジット制度によるカーボンクレジットを活用して温室効果ガス排出量を相殺し、本社工場・A1工場においてGHGプロトコル<sup>\*3</sup> Scope1・2<sup>\*4</sup>のカーボンニュートラルを達成しました。あわせて、ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社による英国規格協会（BSI）が定めるカーボンニュートラルを実証するための仕様書「カーボンニュートラルの実証のための仕様」（PAS2060）<sup>\*5</sup>を参照した国際基準に準拠する検証を経て、Scope1・2のカーボンニュートラルに関する第三者保証を受領しました。



本社工場



(右から) A1 工場、A1+工場

\*1：国際標準化機構（International Organization for Standardization：ISO）が策定した環境マネジメントシステムに関する国際認証規格

\*2：当社の生産拠点で利用する電力を100%再生可能エネルギーに切り替えたことによって、Scope2のカーボンニュートラルを達成しました

\*3：温室効果ガス（Greenhouse Gas：GHG）の排出量を算定・報告する際の国際的な基準

\*4：Scope1とは事業者自らによる温室効果ガスの直接的排出を、Scope2とは他社から供給された電気等のエネルギーの使用に伴う間接的排出を指す

\*5：英国規格協会（British Standard Institution：BSI）が作成・公開しているカーボンニュートラルを実証するための仕様書

当社は2021年に策定した環境中期計画「グリーンプラン2030」を推進しています。気候変動問題への対応を経営の重要課題のひとつと位置付けており、温室効果ガス排出量の算定と、算定結果に基づいて、国内生産拠点における事業活動に伴う温室効果ガス排出量（Scope1・2）の削減目標を設定し、各種取り組みを進めてきました。この度、Scope1・2のカーボンニュートラルを達成したことを受け、今後は間接的な温室効果ガス排出（Scope3）への対応や当社の海外現地法人までの範囲拡大など、サプライチェーン全体での温室効果ガス削減も段階的に模索していきます。当社は引き続き持続可能な社会の実現に向けた取り組みを続け、すべてのステークホルダーの皆様と最良の価値交換をし続ける企業を目指してまいります。

## 当社の気候変動問題への取り組み

- 2021年5月 温室効果ガス（GHG）排出量を算定。
- 2021年8月 サステナビリティレポート2021を発刊。グリーンプラン2030目標値を上方修正。
- 2021年12月 本社工場・A1工場電力を再生可能エネルギー100%に切替。Scope2のカーボンニュートラルを達成。
- 2022年8月 サステナビリティレポート2022を発行。
- 2022年9月 森林吸収プロジェクト由来のJ-クレジットを購入。Scope1のカーボンニュートラルを達成。
- 2022年10月 本社工場・A1工場におけるScope1・2のカーボンニュートラルの第三者証明書を取得。

以上